

〔科目名〕				〔単位数〕		〔科目区分〕	
韓国語入門				4 単位		アカデミック・コモン ベーシック	
〔担当者〕		〔オフィス・アワー〕				〔授業の方法〕	
李恵慶(りー・へきょん)		時間:授業中に示す 場所:授業中に示す				講義	
〔科目の概要〕							
本科目は、初めて韓国語を勉強する入門者向けの授業です。韓国語の文字（ハングル）の読み方・書き方から初級レベルの会話と文法をじっくり学んでいきます。韓国語は日本語と同じ語順をもっており、特別に発想の転換を求められることなく理解できるため、初級のレベルであれば、言葉を入れ替えるだけですぐに会話を楽しむことができます。授業は基本的にテキストに沿って進めますが、序盤では発音演習に、そしてその後は基礎文法を中心とした会話の演習に重点を置きながら、「読む」「書く」「話す」「聞く」の四つの技能をバランスよく伸ばしてゆきます。また、異文化コミュニケーションの観点から韓国大衆文化に関する映像資料を用いて韓国の文化・社会にも触れる予定です。							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕							
歴史的・文化的・地政学的に最も近い日本と韓国は、これまで長い間、様々な形で交流を深めてきました。しかし近年の両国の関係は必ずしも良好とはいえず、だからこそ今、相手への理解と共感が求められています。そのための最も効率的かつ効果的な手段が相手の言葉を学ぶことといえます。なせなら、人間の文化や社会を根本で支えるものが言語である以上、言葉を理解することは相手を理解し、相手の思考と文化を理解することに他ならないからです。 韓国語の習得は様々な可能性に開かれています。身近なこととしては旅行や友達づくり、K・Pop 等を楽しむことができるだけでなく、仕事に繋げることも可能です。韓国から観光や商用などで日本を訪れる人が年々増えていますので、韓国語や朝鮮半島の文化を学ぶことは国際化が進みつつある青森で働くうえでも役立つものと思われます。外国語が苦手な人はぜひ韓国語にチャレンジしてみてください。日本語と同じ文法構造をもつ韓国語を学ぶことで、その苦手意識を克服することができ、日本語に対する新しい視点をもつことができると思います。							
〔科目の到達目標〕							
本科目の最終目標は韓国語の読み書きができるとともに、基礎文法及び初級レベルの語彙力と会話力を身につけることです。そのための中間目標としては以下の4つが挙げられる。 ・ハングルという韓国語の文字の仕組みと特徴を理解する。 ・発音をマスターし、読み書きができるようにする。 ・基礎的な文法知識を身につける。 ・挨拶や簡単な自己紹介と初級レベルの会話に必要な語彙と表現を覚える。							
〔ディプロマ・ポリシー（DP）との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
	○						
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕							
語学授業では受講生の皆さんの積極的な参加が不可欠です。語学は「頭」ではなく、「体」で覚える側面がありますので、授業では恥ずかしがらないで声を張り、繰り返し行う練習に参加してください。またよく分からないことがあったら、質問をし、きちんと理解してから次の段階に進むようにしてください。毎週宿題があり、必要に応じて小テストを実施します。							

〔教科書〕 木内明著、『基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版』、国書刊行会、2013 年。 ISBN:978-4-336-05750-1	
〔指定図書〕 特になし	
〔参考書〕 特になし(必要に応じて授業中に紹介します)	
〔前提科目〕 なし	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 成績評価は出席及び授業態度（授業への参加度）40%、授業中に提示した課題（レポート）10%、試験（中間テスト＋期末テスト）50%から総合的に行います。なお、単位取得には 4/5 以上の出席が必要ですが、就職活動中の 4 年生や特別な事情があると認められる場合はその限りではありません(要相談)。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 以下の3点をお願いします。 ・私語や居眠り、よそ事など、授業の邪魔になったり、他人に迷惑をかける行為は慎む。 ・授業は段階的に構成されているので、特に発音練習のときは欠席・遅刻をしない。 ・授業のスムーズな進行のために毎回復習と予習を行い、練習や会話に積極的に参加する。 韓国語だけでなく、韓国の文化や社会に関心のある人、大歓迎です。また、実践的な韓国語コミュニケーション能力を身につけるためにも、本授業の履修後は「韓国語会話」の受講をお勧めします。	
〔実務経歴〕 該当なし	
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル	
第 1 回	テーマ(何を学ぶか):オリエンテーション及び韓国語について 内 容:今後の授業と注意事項などについて説明 教科書・指定図書 なし
第 2 回	テーマ(何を学ぶか):ハングルの構造と発音① 内 容:基本母音の発音と文字を覚える 教科書・指定図書 基礎・第2課
第 3 回	テーマ(何を学ぶか):発音② 内 容:基本子音の発音と文字を覚える 教科書・指定図書 基礎・第3・4課
第 4 回	テーマ(何を学ぶか):発音③ 内 容:複合母音とパッチムを覚える 教科書・指定図書 基礎・第5課
第 5 回	テーマ(何を学ぶか):発音④ 内 容:パッチムの復習と濃音・激音の練習 教科書・指定図書 基礎・第2～6課

第 6 回	テーマ(何を学ぶか): 中間まとめ及び挨拶 内 容: 文字と発音のおさらい、自分の名前のハングル表記・挨拶など 教科書・指定図書 基礎・第7課
第 7 回	テーマ(何を学ぶか): 自己紹介 内 容: 主格助詞「は」と「～です」 教科書・指定図書 第1課 私は浅井ゆかりです
第 8 回	テーマ(何を学ぶか): 疑問形 内 容: 主格助詞「が」と「～ですか」 教科書・指定図書 第2課 出身はソウルですか
第 9 回	テーマ(何を学ぶか): 名詞の否定形 内 容: 「～ではありません」、「～ではありませんか」 教科書・指定図書 第3課 図書館ではありません
第 10 回	テーマ(何を学ぶか): 存在詞と指示代名詞 内 容: 「あります」「います」／「ありません」「いません」 教科書・指定図書 第4課 時間がありますか
第 11 回	テーマ(何を学ぶか): 「する」動詞 内 容: 「～します／しますか」 教科書・指定図書 第5課 何をしますか
第 12 回	テーマ(何を学ぶか): 動詞・形容詞の活用(「～です・ます形」)① 内 容: 動詞・形容詞の活用を学ぶ(「ニダ形」) 教科書・指定図書 第7課 服を買います
第 13 回	テーマ(何を学ぶか): 異文化コミュニケーション① 内 容: 韓国映画を観て皆で話し合おう 教科書・指定図書
第 14 回	テーマ(何を学ぶか): 異文化コミュニケーション① 内 容: 韓国映画を観て皆で話し合おう 教科書・指定図書
第 15 回	テーマ(何を学ぶか): 動詞・形容詞の活用(「～です・ます形」)② 内 容: 動詞・形容詞の否定形を学ぶ(「ヨ形」)と目的表現 教科書・指定図書 第8課 スーパーでよく買います
第 16 回	テーマ(何を学ぶか): 中間まとめとテスト 内 容: 中間テストと復習 教科書・指定図書
第 17 回	テーマ(何を学ぶか): 数字① 内 容: 漢数字 教科書・指定図書 第9課 2万5千ウォンです
第 18 回	テーマ(何を学ぶか): 数字② 内 容: 固有数字 教科書・指定図書 第10課 今、何時ですか
第 19 回	テーマ(何を学ぶか): 動詞・形容詞の否定形 内 容: 動詞・形容詞の否定文と助言の表現 教科書・指定図書 第12課 バスは行きません

第 20 回	テーマ(何を学ぶか):過去形 内 容:過去形 教科書・指定図書 第13課 いつ韓国に来ましたか
第 21 回	テーマ(何を学ぶか):様々な表現① 内 容:勧誘の表現など 教科書・指定図書 第14課 一緒にお昼を食べましょう
第 22 回	テーマ(何を学ぶか):様々な表現② 内 容:現在進行形他 教科書・指定図書 第15課 パーティーの準備をしています
第 23 回	テーマ(何を学ぶか):様々な表現③ 内 容:可能形とその否定形 教科書・指定図書 第16課 写真を撮ってもいいですか
第 24 回	テーマ(何を学ぶか):様々な表現③ 内 容:可能形とその否定形 教科書・指定図書 第16課 写真を撮ってもいいですか
第 25 回	テーマ(何を学ぶか):様々な表現③ 内 容:可能形とその否定形 教科書・指定図書 第16課 写真を撮ってもいいですか
第 26 回	テーマ(何を学ぶか):様々な表現④ 内 容:願望の表現 教科書・指定図書 第17課 陶磁器が見たいです
第 27 回	テーマ(何を学ぶか):様々な表現⑤ 内 容:許可と禁止の表現 教科書・指定図書 第18課 写真を撮ってもいいですか
第 28 回	テーマ(何を学ぶか):様々な表現⑥ 内 容:当為と意志の表現 教科書・指定図書 第19課 帰国しなければなりません
第 29 回	テーマ(何を学ぶか):様々な表現⑦ 内 容:推量・意志の表現 教科書・指定図書 第20課 手紙を書きますよ
第 30 回	テーマ(何を学ぶか):様々な表現⑧ 内 容:敬語 教科書・指定図書 第11課 日本語を放されますか
試 験	期末テスト

*授業スケジュールは事情により変更する場合がある。